



# コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

## 急性期合併症も預かる 回復期リハビリテーション病院

「右下腿Ⅲ度熱傷を伴った脳梗塞患者に対して回復期リハビリ病棟でデブリドメントを行った1例」という症例報告をいたしました。回復期病棟には時折、熱傷(やけど)や褥瘡(床ずれ)がある状態で転院してくる方がおられます。そのような傷に細菌がついてしまうと、感染が成立し発熱や痛みにより

リハビリが進められませんが、そこで重要になってくるのが感染してしまつた組織を局所麻酔で外科的に取り除くデブリドメントという処置です。感染してしまつたと、発熱など身体的問題だけでなく、痛みなどによりリハビリに対するモチベーションが下がるなどの精神的問題も引き起こされます。



左がコープリハビリテーション病院入院時。植皮が必要なほど重度の熱傷。中央が根気よく壊死組織の除去を繰り返したところ。そして右が治癒後。この間、本来の入院目的のリハビリテーションを行います。

## 大会運営のお手伝い報告

2月24・25日に回復期リハビリテーション病棟協会の研究大会が川崎医科大学附属病院で開催されました。当院は、座長・特別講演・シンポジウ

ム・演題発表など、様々な内容で参加しました。その中でも私は県内の20病院で集まつた会場ボランティアに携わりました。大会前日の打合せに加え、朝8時から夕方19時まで準備や片付けも行い、このような活動で大会が成り立っている事を知りました。日中は会場で参加者の誘導やマイクの消毒など役割分担をしてスムーズな発表になるよう協力しました。内容は事務方作業が主となりましたが、他院の方々と一緒に大会の成功に関わる貴重な経験となりました。



陣中見舞に来てくれたコープリハの人達と(中央が筆者)

(コープリハビリテーション病院 理学療法士 桑原京佑)

感染が成立する前にデブリドメントを行うことで、スムーズなりハビリ、自己満足度の高い自宅退院が可能となることを発表しました。  
(倉敷中央病院 救命救急センター 部長 田村暢一郎)

## 不安を和らげるのはリハビリナース最初の仕事

「ADL向上の妨げになる不穏を取り除く看護」を発表しました。今回は不穏がある患者さんに対して直接関わる



不安で眠れない患者様の傍らで自分の仕事をする先輩看護師

「ADL向上の妨げになる不穏を取り除く看護」を発表しました。今回は不穏がある患者さんに対して直接関わる

入院時の患者さんは家に帰れない不快感、ここがどこかわからない不安からの帰宅願望で不穏はあると考えます。そういった患者さんに対して内服で頼るのは限界と言われており、また認知症患者は周囲を「自分に優しくする人」と「自分を攻撃する人」の2種類に分けると言われている

(コープリハビリテーション病院 看護師 戌亥 烈)

## リハビリナースの到達点

2月に開催された回りハ病棟協会研究大会で、「自宅復帰の3条件を整えるリハビリテーション看護」というテーマで研究発表に臨みました。自宅で暮らすには経管栄養や失禁があると介護負担を伴い、環境も合わせて配慮しなければなりません。この3条件を整えることがリハビリ看護であり、その



右から2番目が筆者 コロナ禍以前のカンファレンス風景

の具体的なアプローチの構造を試み、大会で紹介しました。回りハ病棟 (コープリハビリテーション病院 看護師 水畑拓馬)

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

# 川崎医科大学附属病院より医療連携訪問

スムーズな転院・受診支援のため連携病院と定期的な面談しています。

3月16日、川崎医科大学附



左から3番目より、河野看護師長、金島MSW、美甘事務員、左端より鍛本院長、山田看護師長、右端より田辺相談室長、中曾MSW

属病院よりベッドコントロールセンター河野看護師長、患者診療支援センター金島MSW、美甘事務員が来訪され、

当院から鍛本院長、山田師長、田辺相談室長、MSW中曾と面談しました。面談では、連携に必要な情報や連携のあり方などについて意見交換ができました。当院から週1回、山田師長が川崎医科大学附属病院の脳卒中カンファレンスに参加しており、顔の見える連携が維持できています。また当院

## 職責者紹介



老健あかね  
看護師長  
永野 香須美

この度老健あかねの師長となりました永野香須美と申します。

いる姿やスタッフのサポートに助けられる毎日です。あかねでは医師をはじめ多種にて健康管理、リハビリテーション、在宅支援などの役割を担っております。利用者様、ご家族様のご要望に沿い、住み慣れた場所での生活を少しでも長く過ごして頂けるよう支援いたします。

不安な気持ちがあっても緩和でき、お役に立てますようスタッフ一同精一杯努力して参りますのでよろしくお願致します。

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。

## 看護師の職業体験で進路の一助に 高校生1日体験を開催して

からもご紹介いただいた患者様について、医師宛の退院報告に加え、退院支援看護師やMSWの方宛に退院報告書を作成しており、「急性期病院として患者さんの回復の様子

を知ることができるとは非常にありがたい」と感想をいただきました。  
(コープリハビリテーション病院 医療福祉相談・連携室 中曾真知子)



県内の高校生の皆さんとスタッフの集合写真

3月22日に県内の高校から10名の高校生が体験に参加されました。遠いところでは2時間近くかけて参加されました。感染対策として抗原検査を行い白衣に着替えました。看護師長の挨拶と1日の流れを説明して体験を開始しました。まずは注射器の吸い上げ体験をしてもらいました。初めて注射器に触れて緊張のあまり手が震え、扱いの難しさに戸惑いながら何度も実践する中で上手に吸い上げが出来て皆さんとても嬉しそうでした。



○お問い合わせ先  
倉敷医療生活協同組合  
コープリハビリテーション病院  
老人保健施設 老健あかね  
TEL 086-444-3212(代表)  
受付時間 平日 9:00～16:30  
土曜日 9:00～12:00  
(日祝・年末年始を除く)  
〒712-8057  
倉敷市水島東千鳥町1-60  
ホームページ: <http://coopreha.jp/>  
メールアドレス: [info@coopreha.jp](mailto:info@coopreha.jp)  
広報委員会  
発行責任者 笹館 勝人

診療表						
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30～12:00 [086-444-3212]				老健あかね [086-446-6541]		
診療時間	外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビリ	短期集中 健康アップ 教室	訪問 リハビリ
午前 9:00～ 12:30	14:30 ～ 15:00		午後	9:00 ～ 16:50	9:30 ～ 11:00	
月	第1・3・5 中角			○	○	○
火	渡辺 (予約制)	滝本 (予約制)		○	○	○
水	飯塚			○	○	○
木	太田	滝本 (予約制)		○	○	○
金	香口			○	○	○
土					○	○

医療福祉相談・連携室		
相談 受付時間	平日	9:00～12:00 13:30～16:30
	土曜日	9:00～12:00
	日・祝日	休み

際に働いている職員・患者様・利用者様との関わりを見学することで、仕事のイメージや将来のビジョンについて考え



コープリハビリテーション病院  
薬剤師  
松本 吉生

## 新入職員 紹介

水島協同病院から異動して来られた松本吉生と申します。  
お薬の専門家として、患者様に適切な薬物療法を提議できるように努めて参ります。お薬について、分からないことや不安なことがありましたらお気軽に相談ください。  
まだまだ未熟者ですがよろしくお願致します。